

少数民族・異文化理解フェア

～『アイヌ文化に出会う』展～



アイヌ民族とは？

アイヌ民族とは 13世紀あたりから北海道から東北地方にかけて独自の文化を形成した「狩猟部族」の総称です。現在は北海道を中心に樺太や千島列島にかけて住んでいます。

アイヌ民族の歴史

江戸時代には、諸外国と活発に貿易を行っていたアイヌ民族でしたが、日本人との蝦夷地の支配権や諸外国との交易権をめぐって戦いが繰り返されていました。明治維新の後、日本政府は北海道の開拓を始めることになり、北海道に昔から穏やかに暮らしていたアイヌ民族は、本土からやってきた日本人に差別や迫害を受けることになりました。その後、アイヌ民族は社会的地位の回復、民族としての誇りを保つために社会に対して声を上げることをはじめます。

1997年には「アイヌ文化振興法」が制定され、アイヌの文化は保護されることになりました。

アイヌ民族の現在

昔はアイヌの血が入っていることを隠す方もいましたが、現在では民族としての誇りを取り戻し、アイヌ民族であることを公表し、アイヌの文化をもっと発信していくこうという方も増えつつあるそうです。

たくさん展示物があるけれど…？

織り、編み、彫り、楽器、言葉、食事などさまざまな観点から民族学博物館が選んでくれたものを展示しています。皆さんがアイヌ文化に出会い、大自然の中で神（カムイ）とともにくらしてきたアイヌの人々の知恵や伝統を知って欲しいと思います。ショーケースに展示しきれない分は図書館内に展示してあります。自由に触ってみてください。

この民族衣装はどこから借りたの？

国立民族学博物館（大阪府）からお借りしました。展示期間は27日（金）までです。



24~27日放課後、
試着会だよ!!



多読者（暫定）発表！！

11月19日 正午時点での冊数です

◆高校生の部

	1位	218冊	
	2位	65冊	
	3位	64冊	
	4位	63冊	

◆中学生の部

	1位	323冊	
	2位	201冊	
	3位	142冊	
	4位	126冊	

* 多読者は年度末に表彰されます*

図書館が生活空間と同じ建物内にあるということは今しかないので、ぜひ学生時代に読書を楽しみませんか？

図書館だより

球陽高等学校
球陽中学校
図書館発行